

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 2年 8月20日
12時20分23秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001451020 会計課会計係
事務事業 02350 審査事務

所属長名 都築 里美
担当者 岡田 美子
電話番号 0566-71-2251

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	006	行財政運営		
項目（施策）	001	19行財政運営		
施策の方針	001	19行財政運営その他		
事務事業	021	審査事務		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	地方自治法第170条、232条の4、予算決算会計規則第69条			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	支出命令書等の審査、予算差引担当者の指導、債権者登録事務、賃金等の源泉徴収事務、決算の調製、共通消耗品の受払、出納員・分任出納員の任命事務、年末調整及び法定調書作成事務等

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	24,375	22,438	22,277
事業費	5,413	3,538	3,377
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	352	274	200
一般財源	5,061	3,264	3,177
人件費計	18,900	18,900	18,900
正規（人）	3.00	3.00	3.00
その他経費	62	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	支出負担行為決議書及び支出命令書等の審査件数 59,273件	支出負担行為決議書及び支出命令書等の審査件数 59,085件	支出負担行為決議書及び支出命令書等の審査件数 59,000件

事務事業評価シート (2/2)

2頁
令和 2年 8月20日
12時20分23秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001451020 会計課会計係
事務事業 02350 審査事務

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国・県と同様の事務を行っており、不可欠な事務です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	正確な審査事務及び源泉徴収事務は、市民ニーズです。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	支出命令書等の審査事務の効率化を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体と同様に、正確な事務を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	審査事務及び源泉徴収事務については、法令を遵守し適正な運用を行う一方で公共料金等の口座自動振替払を導入し、事務の効率化を図ります。 源泉徴収事務については、新たなシステムを導入し、事務の軽減を図ります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 2年 8月20日
12時20分23秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001451020 会計課会計係
事務事業 02351 出納事務

所属長名 都築 里美
担当者 岡田 美子
電話番号 0566-71-2251

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	006	行財政運営		
項目（施策）	001	19行財政運営		
施策の方針	001	19行財政運営その他		
事務事業	022	出納事務		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	地方自治法第170条、予算決算会計規則第41条、第70条			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	支払関係事務、歳入消込事務、例月出納検査事務、口座振替事務、公金管理委員会運営事務、愛知県証紙の売りさばき事務

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	19,002	16,960	22,630
事業費	6,402	4,360	10,030
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	6,402	4,360	10,030
人件費計	12,600	12,600	12,600
正規（人）	2.00	2.00	2.00
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	支払件数 56,637件 収納件数 365,605件 利息収入 87,257,975円	支払件数 56,095件 収納件数 364,705件 利息収入 73,292,351円	支払件数 56,000件 収納件数 360,000件 利息収入 73,000,000円

事務事業評価シート (2/2)

4 頁
令和 2年 8月20日
12時20分23秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001451020 会計課会計係
事務事業 02351 出納事務

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国・県と同様の業務を行っており、不可欠な事務です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	国・県と同様の業務を行っており、不可欠な事務です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	正確な支払事務等と県証紙の販売は、市民ニーズが充分あります。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	歳入エラーや振込不能を無くす為、職員に情報提供をしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体等と同様に、正確な事務を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	支払事務については、正確な事務を遂行します。 公金管理については、厳格な保管を徹底するとともに、「資金管理方針」と「資金管理計画」に基づき、金融情勢を注視し、確実かつ効率的な運用を行います。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。